	2020年度 / Academic Year 前期		I
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		_
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030G5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史/Watanabe Takashi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	渡辺 貴史/Watanabe Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史/Watanabe Takashi		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective C	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	[環境]419 地域環境データ解析	f室1(4F)	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	twatanab@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環430(学部本館4階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日12:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1. 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2. 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3. ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	王体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の埋解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 degree of comprehensive to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 degree of comprehensive to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 degree of comprehensive to think from various perspectives D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 degree of comprehensive to think from various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 degree of comprehensive to think from various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
) /Course contents of each lesson			5 t-41 to 5 to
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期/Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間/Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030G6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	保坂 稔/Hosaka Minoru		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	保坂 稔/Hosaka Minoru		
授業担当教員名 (オムニパス科目等) / Instructor(s)	保坂 稔/Hosaka Minoru		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective C	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	[環境]402 フィールドリサーチ	F解析室(4F)	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	保坂 環境427		
担当教員TEL/Tel	095-819-2728		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 16:00-17:00	もに,知的活動への動機づけ,論理的.	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition c.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される free definition or to think over Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 definition of the comprehensively activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己 表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れに	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

	2020年度 / Academic Year 前期		
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030G7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	黒田 曉/Satoru Kuroda		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	黒田 曉/Satoru Kuroda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	黒田 曉/Satoru Kuroda		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective Co	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	[環境]428 社会環境資料解析室	置3 (4F)	
対象学生(クラス等) /Intended year			
(class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skuroda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環431		
担当教員TEL/Tel	095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜13:00 - 14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. 技業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. 技業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. 技能力容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. とはいはでは、		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
) /Course contents of each lesson		の味切切住 次似 <i>作</i> 子 生也共士 □□□	5 HH110+ 4 CP 7 (11)
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れは	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

** HT . ()	2020年度 / Academic Year 前期	ngg CT ++n+ / 5 · ·	
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30	1	
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030G8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	菊池 英弘/Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	菊池 英弘/Kikuchi Hidehiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	菊池 英弘/Kikuchi Hidehiro		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective Co	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	[環境]437 社会環境資料解析室	置1 (4F)	
対象学生(クラス等) /Intended year			
(class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hkikuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟4階406		
担当教員TEL/Tel	095-819-2725		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日11時-12時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. 技業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. 技業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. 技能力容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. とはいはでは、		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加 (2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答 (20点×2回) = 40点 + レポート (30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
) /Course contents of each lesson		の味切切住 次州 <i>化十</i> ≒+11 ++ ====	5 HH10+ 4 CP+ / // `
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
7,743	/First Semester	TEH INTO Pay 161100	[]., mw 2
開講期間/Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30	W/A W/	<u> </u>
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030G9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松本 健一/Matsumoto Kenichi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	松本 健一/Matsumoto Kenichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松本 健一/Matsumoto Kenichi		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective C	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生 (クラス等) /Intended year	1年		
(Class)	lenishimatau fatl sassashi u a	- tu	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address 担当教員研究室/Office	kenichimatsu [at] nagasaki-u.a 環453室	с. Јр	
	项453至 2735		
担当教員TEL/Tel 担当教員オフィスアワー/Office hours	2735 事前にアポを取ってください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 br>/ Activities to check the		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
)/Course contents of each lesson 事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れに	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

24th 101	2020年度 / Academic Year 前期		± (Thu 0
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間/Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030H1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	吉田 護/Yoshida Mamoru		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	吉田 護/Yoshida Mamoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 護/Yoshida Mamoru		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective Co	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	[環境]409 学系セミナー室(4	4 F)	
対象学生(クラス等) /Intended year	1年生		
(class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshida-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	yosiiida-iiieiiagasakii-u.ac.jp 環境科学部棟442号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水10:00-12:00	もに,知的活動への動機づけ,論理的.	田老レスの主用さけの羽須女
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 br>/ Activities to check the		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
) /Course contents of each lesson 事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習		
キーワード/Keywords	での教授事項の振り返り(復習)(1h) 人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
数科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	TO THE POST OF THE		
NEW TOTO TOTO TOTO TOTO	l		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
3,43	/First Semester	唯国・代刊 / Day・Perion	並 / 「
開講期間/Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030H2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	長江 真樹/Nagae Masaki		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	長江 真樹/Nagae Masaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	長江 真樹/Nagae Masaki		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目 / Elective C	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year	 1年		
(class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagae@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部3階 環309-2 長江教	昌安	
担当教員TEL/Tel		<u> </u>	
担当教員プレスアワー/Office hours	093-019-2733		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or Activities to check the		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
)/Course contents of each lesson 事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れに	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

当日(Camantan	2020年度 / Academic Year 前期		A / F=: 0	
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2	
開講期間/Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31	1		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202005810030H3	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 樹三裕/Kimihiro Yamashita			
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	山下 樹三裕/Kimihiro Yamashi	山下 樹三裕/Kimihiro Yamashita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 樹三裕/Kimihiro Yamashi			
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective Co	ourses	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar	
教室/Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	1 年生			
(Class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kimihiro@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	環境科学部本館 2 階 環214			
担当教員TEL/Tel	819-2770			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 10:30~12:00			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 			
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加 (2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答 (20点×2回) = 40点 + レポート (30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照	•		
) /Course contents of each lesson			5 t-41 to 5 to	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)			
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力			
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れに	ば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites				

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	主体的に授業に取り組む姿勢を身につけてください。
experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/ Details of practical experience/ Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク (4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期/Semester	2020年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2	
開講期間/Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30			
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202005810030H4	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar		
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	仲山 英樹/ Hideki NAKAYAMA			
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	仲山 英樹/ Hideki NAKAYAMA	仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	仲山 英樹/ Hideki NAKAYAMA			
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目、大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective C	ourses	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生 (クラス等) /Intended year	環境科学部1年生			
(class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakayamah@nagasaki-u.ac.jp			
担当教員研究室/Office	環境科学部仲山教員室(環326)			
担当教員TEL/Tel	095-819-2750			
担当教員オフィスアワー/Office hours	095-819-2750 質問・相談等は、随時受け付けていますが、まずはメールで問い合わせてください。 必要に応じて面談を行います。			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy	協働性/Cooperativeness 考えを 会への関心/Interest in internat	Ť	
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.財態を得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)			
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考 表現能力	方法,学習・実験・調査の計画能力,	コミュニケーション能力,自己	
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れに	ば随時指示する。		

	(h.) 1840)(h.) 7 % C [] 1861. C [] 100. C [] 1. 2. 1. 1. 1. 1. 1. 1.
	仲山が担当する第6回以降は、毎回LACSを使用するため、ノートPCまたはタブレットPCを持参する こと。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	ここ。 第 6 回は、学生便覧を持参すること。
	第7回の前日までに、各自で特に重要と考える環境問題について考えて、第5回のガイダンスの方
	法によりPDFとして入手可能な文献資料を最低3つ収集しておくこと。
	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ
アクセシビリティ/Accessibility (for	•
students with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
	(Camita) support to mining account and only
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Managan for atudanta	重要な連絡をすることがありますので、長大メール及び掲示板を毎日必ず確認する様にしてくださ」。
学生へのメッセージ/Message for students	l ι _ο
実務経験のある教員による授業科目であるか	
(Y/N)/Instructor(s) with practical	N .
experience (Y / N)	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づ	
く教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical	
experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
授業計画詳細 / Course Schedule	
	授業内容 / Contents
授業計画詳細 / Course Schedule	授業内容 / Contents オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time)	
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル)
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習・2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習・2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習・2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習・2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習・2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案 テーマの決定,グループワーク(0)の開始
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案 テーマの決定,グループワーク(0)の開始 グループワーク(1)
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案 テーマの決定,グループワーク(0)の開始 グループワーク(1) グループワーク(2)
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第11回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案 テーマの決定,グループワーク(0)の開始 グループワーク(1) グループワーク(2) 中間報告
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第11回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習-2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案 テーマの決定,グループワーク(0)の開始 グループワーク(1) グループワーク(2) 中間報告 グループワーク(3)
授業計画詳細 / Course Schedule 回(日時) / Time(date and time) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等 大教センター教員による演習・1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ) 大教センター教員による演習・2(ライティングスキル,レポートルール,プレゼンテーションスキル) 国際交流委員会による留学案内 図書館資料収集ガイダンス 環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案 テーマの決定,グループワーク(0)の開始 グループワーク(1) グループワーク(2) 中間報告 グループワーク(3)

	2020年度 / Academic Year 前期		
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030H5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 惠一朗/Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	井口 恵一朗/Iguchi Keiichiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 恵一朗/Iguchi Keiichiro		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective Co	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year			
(class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keyichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環317		
担当教員TEL/Tel	095 819 2745		
担当教員オフィスアワー/Office hours	あいている時間であれば、いつで	もどうぞ。 もに,知的活動への動機づけ,論理的.	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加 (2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答 (20点×2回) = 40点 + レポート (30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照		
) /Course contents of each lesson		小柱扣顺住 次州上土 生红土土 2022	5 HH tl o + 4 o m + / / / /
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れは	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

学期 / Semester	2020年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間/Course duration	2020/04/09 ~ 2020/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030H6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	岡田 二郎/Okada Jiro		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	岡田 二郎/Okada Jiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 二郎/Okada Jiro		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目 / Elective Co	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	1年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jokada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部本館227室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2762		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金 12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性/Autonomy 汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解 /Understanding Diversity 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.財態を含めために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己 表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

	2020年度 / Academic Year 前期		
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間/Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31		
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード/Time schedule code	202005810030H7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境) / Firs	t-Year Seminar	
編集担当教員/Instructor in charge of the course syllabus	武藤 鉄司/Tetuji Mutou		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	武藤 鉄司/Tetuji Mutou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	武藤 鉄司/Tetuji Mutou		
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目,大学院科目	[構造],自由選択科目/Elective C	ourses
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) /Intended year			
(class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmuto@nagasaki-u.ac.jp 環境科学部本館2階 環211 武藤	**	
担当教員研究室/Office		教貝至 	
担当教員TEL/Tel	095-819-2769		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時いつでも可	もに,知的活動への動機づけ,論理的	田老しての志田士はの翌年を
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 br>/ Activities to check the		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加 (2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答 (20点×2回) = 40点 + レポート (30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照	<u> </u>	
) /Course contents of each lesson		不挂扣侧住 次则发子 生担共于 88 8	5上担却のも 4 の田之(り)
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己 表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れに	ば随時指示する。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
experience (Y / N)	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科	
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)
第4回	国際交流委員会による留学案内
第5回	図書館資料収集ガイダンス
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始
第9回	グループワーク(1)
第10回	グループワーク(2)
第11回	中間報告
第12回	グループワーク(3)
第13回	グループワーク(4)
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)
第15回	就職委員会によるキャリア教育

	2020年度 / /			
学期/Semester	2020年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2	
開講期間/Course duration	2020/04/10 ~ 2020/07/31			
必修選択/Required / Elective	必修,選択,自由/required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0	
時間割コード/Time schedule code	202005810030H8	科目番号 / Course code	05810030	
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001			
授業科目名/Course title	初年次セミナー(環境)/First-Year Seminar			
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi			
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	久保 隆/Kubo Takashi			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保 隆/Kubo Takashi			
科目分類/Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses			
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar	
教室 / Class room	学部問い合わせのこと			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)				
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)			
担当教員研究室/Office	環境科学部本館3階 環335室			
担当教員TEL/Tel	095-819-2756			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時対応する。			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。			
授業到達目標/Course goals	・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・ 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己 表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 or A. 大学によります。			
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.財態を得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives controlled for acquiring skills p.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c. 片記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 various perspectives comprehensively utilize knowledge to solve problems controlled for acquiring skills p. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 various perspectives comprehensively utilize knowledge to solve problems controlled for acquiring skills p. 問題解決のために対象を含むする various perspectives controlled for acquiring skills p. 同題解決のために対象を含むするに対象を表現しています。 various perspectives controlled for acquiring skills p. 同題解決のために対象を含むするを表現しています。 various perspectives controlled for acquiring skills p. 同題解決のために対象を含むするに対象を表現しています。 various perspectives controlled for acquiring skills p. 同題を表現しています。 various perspectives controlled for acquiring skills p. 同題を表現しています。 various perspectives controlled for acquiring skills p. 同語を表現しています。 various perspectives controlled for acquiring skills p. not perspective for acquiring skills p. not p			
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加 (2点×15回 = 30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答 (20点×2回) = 40点 + レポート (30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法	詳細は授業計画詳細を参照			
) /Course contents of each lesson		○桂扣旧住 次州上子 1=+0.4.4 = 10.00	5 t-11 to 4 to 5 to 7	
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習:グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習 での教授事項の振り返り(復習)(1h)			
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己 表現能力			
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要が有れに	ば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites				

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006(FAX)095-819-2948(E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp(担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)	
備考(URL)/Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科		
目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
10条时回杆湖 / Course Conecure		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	オリエンテーション:担当教員と受講生の自己紹介,本講義のねらい・成績評価方法の説明等	
第2回	大教センター教員による演習-1(アクティブラーニング,グループワーク,ポートフォリオ)	
第3回	大教センター教員による演習-2 (ライティングスキル, レポートルール, プレゼンテーションスキル)	
第4回	国際交流委員会による留学案内	
第5回	図書館資料収集ガイダンス	
第6回	環境科学入門:担当教員による学部の教育研究活動の紹介,専門教育科目の履修ガイダンスなど	
第7回	グループ分け,取り組むテーマの選択あるいは立案	
第8回	テーマの決定,グループワーク(0)の開始	
第9回	グループワーク(1)	
第10回	グループワーク(2)	
第11回	中間報告	
第12回	グループワーク(3)	
第13回	グループワーク(4)	
第14回	最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答),レポートの提出,まとめ(講評,総括)	
第15回	就職委員会によるキャリア教育	